

2012 年度 第 1 回資源・リサイクル小委員会 議事録

日 時：2012 年 6 月 7 日(木) 15:05～15:50

場 所：80 年館 7 階会議室角、総合棟 4 階第 3C 会議室（遠隔会議）

出席者：

立石(学務部学部事務課)、濱田(多摩事務部総務課)、佐藤(学生センター多摩学生生活課)、
秋山(学務部学部事務課)、中島(学務部学部事務課)、江原(学務部学部事務課)、
洪澤(学生センター市ヶ谷学生生活課)、田川(事業室環境保全課)
鈴木(環境センター)

報告事項

1. 委員の紹介

各委員より自己紹介を行った。

2. 2011 年度一般廃棄物・コピー・リソ・OA 用紙使用量について

田川委員より、2011 年度年間廃棄物排出量は目標値に比して市ヶ谷で約 53%減、多摩で約 16%減を達成した旨報告があった。コピー・リソ・OA 用紙使用量については目標値に比して市ヶ谷で約 2%増、多摩で約 4%増となった旨報告があり、今年度は目標達成に向け更に協力願いたい旨説明があった。

また、濱田委員より多摩の用紙使用について、教材印刷等にかかる使用量が多いことや震災の影響を受け学生生活課で奨学金等にかかる印刷物の増加したこと等が、多摩での用紙使用量の増に影響しているとみられる旨報告があった。

鈴木オブザーバーからは、教学部門での用紙使用削減は困難な面はあろうが、事務部局の会議等での用紙使用量削減等についてより取組んでほしい旨要請があった。

協議事項

1. 2011 年度活動報告と 2012 年度の活動内容・目標について

○ごみ分別体験の実施

昨年度は震災の影響（ホットスポット問題）で、予定していたごみ分別体験をやむを得ず中止としたが、今年度は市ヶ谷、多摩で各 1 回、学生と採用 2 年目職員（可能であれば 3 年目も）も加えて実施することとした。時期については、環境センターが秋に市ヶ谷で環境展実施を検討しており、同時期（10 月～11 月頃）の実施を検討することとなった。多摩についても秋に実施する方向で検討することとなった。

また、小金井でも環境センター主導でごみ分別体験を実施することとなった。

○省資源・廃棄物抑制の推進

2011 年度の廃棄物排出量の削減は、リサイクルペーパー回収が普及した効果によるところが大きいこと、その取組みが周知・浸透されてきたことが確認された。引き続き、今年度は用紙自体の使用量を削減する工夫が必要なことが確認された。

用紙使用量削減の方策として、各委員より以下のような事例紹介があった。

- ・会議での紙媒体配布を「減らす」（両面印刷、複数ページの集約印刷等）。
- ・会議での紙媒体配布を「なくす」（資料のメール送信、事前読み込みで対応）。
- ・さまざまな課内回覧物はデータ回覧する。
- ・保存規程年限を超過した書類は PDF 化して保存する。
- ・学生住所変更届等公式書類にも裏紙を利用する（※裏面に×を書く手間を省くためリソグラフ印刷時に裏面に×も印刷）。

上記のような取組みも参考に、まずは小委員会メンバーの所属部局など小規模なところから用紙使用量削減に取り組んでいくこととした。

また、総長室主導の「カイゼン」運動に、省資源に資するアイデア等を紹介するなど、学内周知も試みてほしい旨鈴木オブザーバーから要請があった。併せて、職員には省資源の意識がかなり浸透し実践されているが、教員へはあまり浸透していないため、教員への周知にも協力願いたい旨要請があった。

2. その他

次回（第2回）小委員会については、ごみ分別体験実施後にその報告を兼ねて実施（10～11月頃予定）することとした。

以上